

Oさん ～いつも笑顔！ST課の母～



リハビリテーション部
言語聴覚士
記事作成時期：2025.2.24

長くST課を見守り、定年後もプレイヤーとして働くOさんに牧田の事を聞いてみましょう。

1) 定年後も牧田で働き続けて下さっているOさんですが、牧田の働きやすい所はどこなところですか？

医師、看護師、看護助手、リハビリ、栄養士、ソーシャルワーカー、歯科など…すべてのスタッフが垣根なく話し合えるところ。正直なところ、以前働いていた病院では、他職種とのコミュニケーションにやりにくさを感じることもありました。牧田はそれが全くないので、働きやすいと感じています。例えば、患者様のリハビリや治療について、疑問点や異なる意見を言っても、受け入れてくださり、お互い納得のいくまで話す雰囲気があると思います。

また、さりげなくお互いを思いやる場所があり、私自身はそれに大変助けられていると思います。

2) STとしてのやりがいを教えてください。

病院には千差万別いろいろな患者様がいて、みなそれぞれに生きてきた歴史があると思います。そうした患者様たちと知り合い、コミュニケーションができることがやりがいのひとつです。いながらにして、自分が想像もしなかった人生を経験するような感覚です。特に回復期ですと、退院が近くなるにつれて患者様とより仲良くなれることも魅力です。セラピストとして患者様に治療をしている身でありながら、むしろこちらが患者様から癒されているなど感じることも多々あります。

3) ST課の雰囲気、一緒に働くスタッフはどんな感じですか？

これだけ多くの人数がいると、色々なキャラクター・能力の人がいるのは当然ですが、牧田のST課においてはそれぞれの人がそれぞれのいいところを出し合っているように思います。得意な分野があるセラピストはそのアドバイスを送ったり、また他の分野では逆の場合ももちろんあります。また、先輩が先輩に質問するだけでなく、同輩同士で相談していたり、そこでもコミュニケーションがとれているなど感じます。コロナはまだありますが、最近飲み会も少しずつ少人数を中心に開かれています。参加すると仕事にはわからなかったその人の好きなことがお互い発見できて、話しやすい雰囲気です。

牧田のSTを長きにわたって支えてくださるOさんあってこそST課かもしれません。いつもありがとうございます！

Kさん ～いつも丁寧！患者さま想いの癒し系～



リハビリテーション部
言語聴覚士
記事作成時期：2025.2.24

2024年度入職された社会人1年目のKさんに、牧田の魅力について聞いてみましょう。

1) STになろうと思ったきっかけを教えてください。

母が視能訓練士として働いており、その影響もあって医療に携わる仕事に就きたいと考えていました。高校生の時に文系選択をしていたので、医療職の中でも目指せる仕事は限られていたのですが、調べていくうちに言語聴覚士という仕事を知りました。もともと人が好きだったこともあって、言語聴覚士を目指そうと思いました。

2) 牧田を選んだ理由と実際に働いてみてどう感じたかを教えてください。

急性期から回復期、生活期まで幅広い学べる環境であること、指導体制が手厚いことを魅力に感じて入職を決めました。また、病院見学の際に説明してくれた先輩方の雰囲気や、丁寧に患者様と接している姿を見て、牧田でならSTとしてだけでなく「医療人」としての成長も期待出来るのではないかと感じました。

実際に働いてみて、バイザーだけでなく他の先輩も分け隔てなくアドバイスをくれる環境があるので、ありがたいと思っています。STだけでなく職種を問わず相談できる先輩も多く、他職種連携が図りやすい点も新人にとっては心強く感じています。

3) 楽しかったこと、いい経験と思えたことはありましたか？

いい経験として思えたのは、人生経験の豊富な患者様と話す中で学べる多くのことがあるということです。また、教科書に載っていないような経験知を先輩方から教えてもらうことも多く、新しい発見につながることも、働いている上で楽しいなと思います。初めて入院から退院支援までを担当したときには不安を感じることも多かったのですが、患者様から感謝の言葉を頂いた時に、自分が今までしてきたことがちゃんと患者様の社会復帰の力になっていんだという実感が持て、よかったなと思いました。

スタッフだけでなく、患者様との交流が自分の成長にもつながっているということですね。これからも楽しみを深めていきましょう！

Aさん ～モノノフランナー！パパST！～



リハビリテーション部
言語聴覚士
記事作成時期：2025.2.22

中途で牧田に入職されたAさんに、牧田を選んだ理由などを聞いていきましょう！！

1) Aさんは以前は違う病院で働いていましたが、転職時に牧田を選んだ理由を教えてください。

前職が回復期だったので、急性期の病院を探していました。それに加えて回復期・老健・訪問など幅広い施設があり、色々な業務に携われるなと思って選びました。もう一つ理由があって、養成校時代の先輩と後輩が牧田に勤めていたので、探りを入れました(笑)。一日の単位数、STの人数、リハビリ部や病棟の雰囲気、医師の雰囲気とか色々聞きました(笑)。学会発表とか参加するのが自由な感じなのも合っていて良いなと思いました。

2) 急性期と回復期のどちらも経験されていますが、リハビリの仕事をする上で、どんな違いがあると思いますか？

急性期は患者様から希望を細かく聞くのが出来ないことが多いので、ご家族から聞いたり、カルテから情報を取ったりします。STとしては、経口摂取出来るかどうかの評価をして、栄養摂取をどうするかという関りが大きいです。

回復期では退院後の生活をイメージしながら、評価や訓練をしていくので、より患者さんの希望を細かく聞きながら進めていきます。

3) Aさんは何度もフルマラソンを走破したり、もくろクのライブにも参加したりしています。育休取得もしていましたが、仕事とプライベートの両立の為に、工夫している事はありますか？

仕事とプライベートの切り替えはしっかりとすることが大事だと思っています。まず何よりも、自分が健康じゃないと仕事が出来ないと思っているので、その工夫が自分にとっては運動や、推し活でした(笑)。患者さんに良いリハビリを提供するためにも、体も心も健康でいるのが大事だと思っています！

自身の趣味やプライベートが、仕事の質につながっているんですね！ ありがとうございます！

Mさん ～ST課を引っ張るスーパープレイングマネージャー！～



リハビリテーション部
言語聴覚士
記事作成時期：2025.2.22

全領域を経験し、現在は臨床もやりつつ役職として活躍するMさんに、色々な話を聞いてみましょう。

1) 今年で入職13年目となりますが、牧田の働きやすい所はどこなところですか？

まず、チーム感が強い。特に高次脳機能障害の患者さんでは、OTとSTが評価を一緒にして、PTも動作面で評価や訓練に加わってもらいます。このように一緒にアプローチする風土は、非常に働きやすいですね。

もう一つ、スタッフが多いのは強みです。STは母数が少なく、配置が少ない職場が多いと思うのですが、牧田は急性期で約10人いて、かなり多い方です。子供がいると、どうしても急に休みとか、保育園から呼び出しとかがあって、そんな時にフォローしてくれる仲間がいるのは非常に助かります。子育てやライフステージが変わったときに応援してくれる職場っていうのは、良い所だなって思います。

2) STとしてのやりがいは何ですか？

急性期だとご飯が食べられるようになり、それが退院に繋がるのはやりがいです。特に医師や看護師が食事摂取は難しそうと予測した時に、食べられるようにサポート出来た時は、やってやったぞってドヤ顔になっちゃいますね(笑)。

あとは、失語症など言語症状が重い患者様に信用してもらえたときですね。本人も周りも困っている時に、患者様に「君ならちょっと話そうか」とか、私の顔を見ると喋り出してくれるという様な関係性を築けた時は、頑張った甲斐があるなと思います。

3) 他職種との連携や、他職種との役割分担で意識している事はありますか？

他の職種の強みを意識して、専門性が高い所は、専門のスタッフにお任せします。逆に「ここはSTが強い」という所や、「STが主導権を握る」場面では、自分が責任を持って動くっていうのを意識しながら、コミュニケーションを取っています。「どういう仕事をするのかな」とか、「この職種の人がこれ得意なんだ」、「こう伝えると相手は動きやすいんだな」というのを、普段のコミュニケーションの中で知っておくのが必要だと思っています。

Mさんのドヤ顔が読んでくれる人にも伝わりそうです！ インタビューありがとうございます！